



Dai 1 NAIKA News

平成 28 年 10 月 27 日

三重大学病院
総合内科、循環器内科
消化器・肝臓内科、腎臓内科
広報紙【第 19 号】

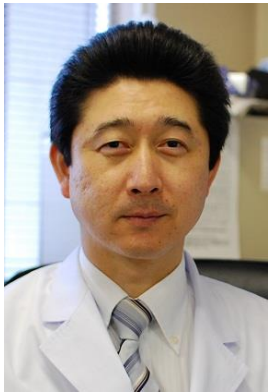
発行 / 三重大学医学部第一内科

〒514-8507 津市江戸橋2-174

TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/index.html>

不整脈、アブレーション、デバイスの進歩



循環器・腎臓内科学
藤井 英太郎

発作性心房細動に対する非薬物療法である拡大肺静脈隔離カテーテルアブレーション治療は確立され、根治率 80-90%と良好な成績が得られています。アブレーション治療を安全に行うためには、左房と肺静脈の三次元画像の構築が不可欠ですが、事前の CT 撮影を要するため、放射線被爆の増大が問題となります。当院では、ナビゲーションシステムとして EP Navigator を導入しており、肺

静脈-左房造影時の回転撮影により、CT 撮影を行うことなく三次元画像を構築し、X 線透視画像上に表示できます。また、EP Navigator により構築された三次元画像をマッピングシステム (CARTO® 3 システム) に統合することにより、放射線被爆量(実効線量)を 1/10 程度に低減できるようになりました。

これまで使用していた電極カテーテルによる高周波焼灼術では、1 回の通電で直径 6mm 程度しか焼灼できないため、肺静脈周囲を一点一点通電し、円周上に焼灼ラインを形成する必要がありました。1 点の焼灼に 20-30 秒間要するため、肺静脈隔離を完成させるには、最短でも

片側 30 分以上の時間を要していました。

冷凍アブレーションシステムを用いたバルーン形状のアブレーションカテーテル「Arctic Front Advance 冷凍アブレーションカテーテル」が、2015 年 10 月 5 日より発売となりました。冷凍アブレーションでは、バルーン形状のカテーテルを用いて、標的となる肺静脈を円周状に冷却し、肺静脈隔離を一括に行うことができます。1 本の肺静脈の隔離に要する時間が 3 分間であり、すべての肺静脈隔離を 12 分で完成させることができるようになりました。本邦で行われた製造販売後調査「CRYO-JAPAN 試験」では、急性期肺静脈隔離成功率 99.8%、6 ヶ月後の心房細動非再発率 89% という素晴らしい結果でした。

また、2016 年 4 月 1 日に「SATAKE・HotBallon カテーテル」が発売されました。葉山ハートセンターの佐竹修太郎先生が、13 年の年月をかけて開発したデバイスで、日本発の発作性心房細動治療用カテーテルです。高周波装置を用いてバルーン内の生理食塩水を 70℃ 近くまで加温させたバルーンカテーテルを肺静脈入口部に圧着させることにより、肺静脈入口部を一括で焼灼することが可能です。現在、製造販売後調査が行われており、当院でも適応症例に使用しています。

アブレーション件数は年々増加しており、これもひとえに先生方からのご紹介のお蔭と心から感謝致しております。今後ともよろしくご依頼申し上げます。

循環器・腎臓内科病棟医長を拝命して

2016 年 7 月より循環器腎臓内科病棟医長を拝命した栗田泰郎と申します。平成 11 年に三重大学を卒業後、茅ヶ崎徳洲会病院、三重大学附属病院、松阪中央総合病院、尾鷲総合病院、山田赤十字病院、永井病院、豊橋ハートセンターにて循環器内科医として研鑽を積んでまいりました。



循環器内科
栗田 泰郎

三重大学医学部附属病院循環器内科は三重県における循環器診療の中心として、三重県 180 万人の循環器疾患患者を支えていく役目を果たすべきであると思っております。そのため、心臓移植、人工心臓など、現時点では三重県で行うことができない医療に対しても十分習熟し、その医療が必要な患者様にはその門戸を開き、そして、地元で施行可能な新しい医療は積極的に取り入れ地域に還元していくことが非常に重要な役目であると考えております。

救急部、看護部の協力もあり、以前に比べて緊急患者様の受け入れが容易になってきております。諸先生方の大事な患者様が、大学病院での加療が必要な時には迅速に対応できるように努力してまいります。

何卒、よろしくご依頼申し上げます。

大学病院には教育、研究、臨床と 3 つの大きな柱があります。時代の変化とともにその役割は徐々に変化しており、地域のメディカルセンターとしての役割が強くなってきております。

ワンポイントレクチャー 『IgA腎症』



腎臓内科
春木あゆみ

IgA 腎症は、検尿で血尿や蛋白尿を認め、腎臓の糸球体に IgA が沈着する病気です。学校検尿や職場検尿の機会に偶然血尿や蛋白尿を指摘されることが多く、初期は無症状です。一部の患者さんでは急性上気道感染時に肉眼的血尿を併発することがあります。発症時期不明のまま血尿や蛋白尿と共に腎障害が

進行し、高血圧や腎機能異常を健診などで発見されることもあります。稀に急性腎炎症候群による浮腫が発見の動機となることもあります。多くは慢性の経過をたどります。20年で40%前後が腎不全に至るといわれています。

診断は腎生検で行います。腎生検で診断がつく病気では最多で(約35%)、我が国では約33,000人の患者さんがいると推計されています。女性では20~30歳代に緩やかな

ピークを認めますが、男性では10~60歳代にかけて万遍なく分布しています。性差は認めません。

治療は生活習慣の改善、食事療法が基本で、それに加えRA系阻害薬、副腎皮質ステロイド薬、免疫抑制薬などの薬物療法があります。さらにわが国では扁桃摘出術(扁桃摘出術+ステロイドパルス療法)が広く実施されています。

異常IgAを産生すると考えられる扁桃腺を摘出し、ステロイドパルスにより糸球体の炎症を抑えるというものです。扁桃摘出術に対する取り組みは医療機関によって異なるのが実態ですが、当院では腎生検で活動性病変の多い場合は積極的に行っています。血尿を最初に指摘されてから早期に行えば尿所見正常化率は高い一方、治療を行うまでの期間が長くなると正常化率は下がってしまいます。検尿異常でお悩みの患者様がいらっしゃいましたら、ご紹介頂けますと幸いです。今後もご指導よろしく申し上げます。

~ おしらせ ~

●第31回市民健康広場

日時：11月20日(日) 13:00~16:00 場所：津地区医師会館・三重看護専門学校

講演会：13:30~14:30 「生活習慣病を理解して、護ろう健康！」三重大学医学部附属病院病院長 伊藤正明

●尾鷲市市民公開講座「あなたのハートは大丈夫？」

日時：12月10日(土) 場所：尾鷲市中央公民館

心臓マッサージ講習会：13:00~ 講演会：14:00~16:00

「高血圧と慢性腎臓病について」-血圧を気にしていますか?-

尾鷲総合病院 病院長 小薮助成

「心臓発作は突然やってくる」-胸が痛い、その時どうすればいいの?-

NPO法人みえ循環器・腎疾患ネットワーク理事長

松阪中央総合病院 診療部長 谷川高士

※ 詳しくはホームページをご覧ください。

● 第一内科外来担当がリニューアルされました。11月~)

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------|----|--------------------------------------|-------------------|----------|----------------------|-------------------|
| 総合 | 初診 | 山田(偶数週) 栗田(奇数週) 山本,松田(PM) | 藤本(直) 村田 | 岡本 石川 | 田辺 杉本 | 土肥 |
| | 再診 | 山田 岡本,山本 | 藤本(直) 村田 | 岡本 石川 | 田辺 杉本 | 土肥 |
| 循環器 | 初診 | 山田 栗田 松田,中谷 | 藤井 藤本(直) 佐藤 | 岡本 杉浦 | 田辺 藤田 熊谷,福岡 | 土肥 香川 荻原,大森 |
| | 再診 | 伊藤,岡本 藤本(直), 増田,栗田 デバイス外来香川 | 土肥 杉浦 | 岡本 荻原 | 田辺 藤田 谷村 松田 | 山田 藤井 熊谷 |
| 腎臓 | 初 | 伊藤(貴) | 村田 | 石川 | 藤本(美) | 鈴木 |
| | 再 | 石川 | 平林 | 藤本(美) | | 村田 |
| 消化器 肝臓 | 初 | 山本 | | | 杉本,小倉 | |
| | 再 | 杉本 山本,小倉 | | 山本 | 杉本,小倉 | |

注) 不整脈に対するカテーテルアブレーション治療目的で御紹介いただく場合は、可能な限り火,木,金曜日の外来(担当:藤田,藤井,香川)に御紹介をよろしくお願い申し上げます。
デバイス外来(1,2,3週のみ)

●第一内科ホームページ

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/>

三重大学病院循環器内科、腎臓内科

~患者様をご紹介ください~

1. FAX 新患予約

「診療予約申込書」(三重大学医学部附属病ホームページ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> の「医療機関の方へ」からダウンロード可)に必要事項を御記入の上、FAX059-231-5541 に送信してください。15分以内に折り返しFAXで診療予約の回答をさせていただきます。

2. 緊急受診、ご相談等

下記、循環器内科、腎臓内科救急ホットラインへ直接お電話下さい。

病棟主任が直接対応させていただきます。

循環器内科、腎臓内科救急ホットライン

三重大学病院循環器内科、腎臓内科連絡先(直通)

内科外来：059-231-5146

病棟：059-231-5101

F A X：059-231-5518

研究棟：059-231-5015

患者様の紹介、相談にご活用ください。
本機関誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、または当科HPまで。

naika1@clin.medic.mie-u.ac.jp

